

もっと知ってほしい、デイケアだからできること。

ほほえみ通信+

ぶらす

hohoemi



vol.08

Mar. 2020

西宮協立デイケアセンター ほほえみ
西宮市津門呉羽町10-13
TEL:0798-36-6780 FAX:0798-36-6766

西宮協立デイケアセンター 第2ほほえみ
西宮市津門呉羽町9-10 1F
TEL:0798-33-3501 FAX:0798-33-3502



「食べること」を支援します!

栄養改善加算について

低栄養状態にある利用者さま、またはそのおそれがある利用者さまに対して、栄養状態の改善を図る食事相談や栄養管理を目的としています。利用者さまの心身機能の維持・向上も含め、栄養改善に向けたサービスを行います。

栄養改善サービスとは

- 利用者ごとの低栄養状態のリスクを利用開始時に把握
- 摂食・嚥下機能および食事形態や内容、栄養補助食品などの提案

点数

- ◆ 介護：150 単位 / 回 (1 月に 2 回限度)
 - ◆ 予防：150 単位 / 月
- ※ 要支援者で、口腔機能向上加算や運動機能向上加算とともに算定する場合、選択的サービス複数実施加算としておきかえます。

算定要件

- ◆ 管理栄養士を 1 名以上配置していること
- ◆ 栄養ケア計画を作成して、進捗状況を定期的に評価していること
- ◆ 栄養改善サービスを行っているとともに、利用者の栄養状態を定期的に記録していること

対象者

- ① 過去 6 ヶ月の間で 3% 以上、もしくは 2kg 以上の体重の減少が認められる方
- ② 食事摂取量が不良 (75% 以下) の方
- ③ 血清アルブミン値が 3.5g/dl 以下の方
- ④ BMI が 18.5 未満の方
- ⑤ その他、低栄養状態にある、またはそのおそれがあると認められた方



実際の取り組み
内容は裏面を
ご覧ください♪

デイケア利用の実例

「栄養改善サービス」で効果的なリハビリを



対象

プロフィール

元競輪選手(運動への関心が高い)
年齢：79歳
介護度：要介護3
疾患名：パーキンソン病

パーキンソン病の前傾姿勢の影響と考えられる便秘・逆流により食事が減少。4ヶ月間で5.8kg減少し、栄養スクリーニングで「低栄養」の評価となり栄養改善サービスを開始。

1

1回目の介入・1サイクル目
〈目標〉
便秘解消で食事量アップ



介入当初は整腸剤のみ内服、2週間で排便1回と頑固な便秘だった。便を軟らかくする下剤の使用について主治医への相談を提案。水分摂取量も1日500mlと少なく、水分摂取を促した。

結果

下剤処方にて毎日排便。食事量・水分量とも改善し、笑顔が見られる

2

1回目の介入・2サイクル目
〈目標〉
効果的なリハビリで3kg増加



便秘解消により精神面も安定し、筋肉・筋力アップを希望された。筋肉アップを目的としたアミノ酸ジュースを3ヶ月間毎日摂取するよう提案。自宅では散歩後、デイ利用時はリハビリ後に摂取。

結果

3ヶ月で4.3kg増加。「太ももが太くなった」とご本人も変化を実感

3

終了時

6か月で7.1kg増加。
「おいしいね」とコメントされるまで食欲も改善し、栄養改善サービスは一旦修了。

まとめ

修了6か月後、便秘と幻覚の悪化で再び食欲不振となり、4~7月の4ヶ月で7.7kg減少。栄養スクリーニングで再度「低栄養」と評価され、栄養改善サービス再開。途中体重減少を認めましたが、医師やセラピストと連携し最終的には体重増加して修了。管理栄養士の介入と多職種連携により、自宅だけではなく「デイケアで出来ること」も考えることが出来た。栄養改善サービス修了後も6ヶ月毎の栄養スクリーニングにより、早期介入再開につなげることが出来た。

【栄養改善サービスと体重の変化】

